

1 外国人の受入促進・活動環境の整備

(1) 外国人相談機能の強化

① 外国人ワンストップ総合相談窓口の運営

府内外国人が生活・就労等に関する適切な情報に速やかに到達できるよう、情報提供・相談を行う一元的相談窓口「大阪府外国人情報コーナー」を、大阪府の補助金を受けて運営した。

なお、令和2年2月以降は、新型コロナウイルス感染症に関し、外国人からの健康・医療や労働・仕事、在留資格など様々な相談に数多く対応した。

対応言語 (11言語)	日本語、英語、韓国・朝鮮語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、タイ語、ベトナム語、フィリピン語、インドネシア語、ネパール語
対応時間	(月・金曜日) 9時から20時まで (火・水・木曜日) 9時から17時30分まで (第2・第4日曜日) 13時から17時まで ※弁護士又は行政書士による専門相談を12回実施。大阪出入国在留管理局との共催による専門相談を8回実施。
相談件数	2,204件

② 府内市町村等の外国人相談の強化

(ア) 大阪府外国人向け行政情報提供窓口相談員ネットワーク会議

大阪府内の市町村など外国人の抱える問題を解決する機関との連携を深めあうとともに、相談員や窓口担当職員同士が連携することを目的としてネットワーク会議を開催した。

<第1回>

実施日：令和元年7月29日(月)

場 所：マイドームおおさか

講 義：「改正入管法について」

大阪出入国在留管理局 統括審査官 山中 秀樹 氏

「留学生の在留状況について」

行政書士 中森 和文 氏

出席者数：26人

<第2回>

実施日：令和元年10月7日(月)

場 所：マイドームおおさか

講 義：「国際結婚・国際離婚・それに伴う在留資格」

行政書士 田上 創 氏

出席者数：14人

<第3回>

実施日：令和2年1月15日（水）

場 所：マイドームおおさか

講 義：「入管法違反について」

大阪出入国在留管理局 統括審査官 相田 恭輔 氏

「非正規滞在者への対応について」

弁護士 中井 雅人 氏

出席者数：26人

<第4回>

実施日：令和2年2月5日（水）

場 所：マイドームおおさか

講 義：「外国にルーツのある子どもの教育」

Minami こども教室 副実行委員長 原 めぐみ 氏

「外国にルーツを持つ子どもの進路と高校生活について」

おおさかこども多文化センター 事務局長 橋本 義範 氏

出席者数：15人

(イ) 相談員・通訳者研修

大阪府内の市町村等で外国人相談に携わる相談員、通訳者を対象に、よりよい相談サービスを提供するため、最新事情や各種制度等に関する知識の拡充・共有を目的とした研修を実施した。

<第1回>

日 時：令和元年6月24日（月）14時～17時

場 所：マイドームおおさか

講 義：「在日ネパール人の状況とネパールについて」

OFIX ボランティア ニローズ・シュレータ 氏

「在日インドネシア人の状況とインドネシアについて」

OFIX 国際理解教育サポーター アルダナ・ウィジャクソノ 氏

出席者数：11人

<第2回>

日 時：令和元年9月9日（月）13時30分～17時

場 所：マイドームおおさか

講 義：「外国人技能実習制度について」

行政書士 鈴木 睦美 氏

「関西における技能実習生の実情及び人権保護について」

RINK 事務局長 早崎 直美 氏

出席者数：15人

<第3回（1日目）>

日 時：令和元年12月4日（水）10時～16時30分

場 所：マイドームおおさか

講 義：「外国人と社会保障」

社会保険労務士 平尾 祐喜夫 氏

「外国人と起業」

大阪産業創造館 岡島 卓也 氏、石嶺 一樹 氏

「起業のための在留資格」

行政書士 岡田 恭典 氏

出席者数：28人

<第3回(2日目)>

日 時：令和元年12月6日(金)10時～16時30分

場 所：マイドームおおさか 会議室

講 義：「外国人と労働」

社会保険労務士 奥井 康代 氏

「外国人の労働問題の解決」

弁護士 四方 久寛 氏

「労働相談の内容」

大阪労働局 杉森 敬太 氏

出席者数：25人

(ウ)外国人住民向け地域合同一日相談会

府内市町村における外国人相談窓口の設置を支援するため、大阪府内の自治体や国際交流協会が、府内の他の市町村や大学などと連携して実施する相談会を共催し、行政書士や弁護士などの専門相談員やボランティア通訳者等を派遣した。

○「外国人のための1日相談サービス」

実施日：令和元年6月2日(日)

場 所：和泉市ボランティア・市民活動センター「アイ・あいロビー」

主 催：和泉市、和泉商工会議所、和泉市国際交流協会、大阪府国際交流財団

相談内容：法律、在留資格、労働、仕事、年金等

対応言語：英語、中国語、韓国・朝鮮語、ベトナム語

相談者数：8人

相談件数：15件

○「外国人のための無料相談会」

実施日：令和元年10月19日(土)

場 所：池田市立中央公民館

主 催：池田市、国際交流協会ネットワークおおさか、大阪府国際交流財団

相談内容：在留資格、法律、教育、進路、国民健康保険、国民年金、住民税、子育て、暮らし

対応言語：英語、中国語、韓国・朝鮮語、タイ語、ベトナム語、ポルトガル語、スペイン語、

インドネシア語、ネパール語

相談者数：3人

相談件数：3件

○「外国人のための法律相談会」

日 時：令和2年1月19日(日)

場 所：とんだばやし国際交流協会

主 催：とんだばやし国際交流協会、国際交流協会ネットワークおおさか、大阪府国際交流財団

相談内容：法律、在留資格、労働、税金、生活一般

対応言語：英語、中国語、韓国・朝鮮語、タイ語、ベトナム語、フィリピン語、

ポルトガル語、スペイン語、インドネシア語、ネパール語

相談者数：2人

相談件数：3件

○「外国人のための相談会」

実施日：令和2年2月2日（日）

場 所：守口市役所

主 催：守口市、四条畷市、大阪府国際交流財団

相談内容：在留資格、生活、人権、教育、保険・年金、労働

対応言語：英語、中国語、ベトナム語

相談者数：7人

相談件数：15件

○「外国人のための一日相談会 in 枚方」

実施日：令和2年2月29日（土）

場 所：枚方市民会館

主 催：枚方市文化国際財団、北大阪商工会議所、大阪府国際交流財団

相談内容：在留資格、生活、人権、教育、保険・年金、労働

対応言語：英語、中国語、ベトナム語

相談者数：7人

相談件数：7件

③ 一日インフォメーションサービス事業

大阪法務局、大阪出入国在留管理局等で構成する実行委員会に参画し、外国人を対象とした「一日インフォメーションサービス」を2回開催した。OFIXは、「生活関連ブース」での相談を担当するとともに、通訳協力を行った。

主 催：「一日インフォメーションサービス」実行委員会

（「外国人の住みやすい大阪」を考える関係機関等連絡会議）

（構成）大阪法務局・大阪出入国在留管理局・大阪労働局・日本年金機構大手前年金事務所・全国健康保険協会大阪支部・大阪府・大阪府警察本部・大阪市・大阪弁護士会・大阪府行政書士会・大阪府医師会・大阪府歯科医師会・大阪府薬剤師会・大阪商工会議所・近畿税理士会・大阪府社会保険労務士会・日本学生支援機構大阪日本語教育センター・大阪市立男女共同参画センター子育て活動支援館・関西国際交流団体協議会・大阪府国際交流財団・大阪国際交流センター ※事務局は大阪国際交流センター

対応言語：英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、インドネシア語、タイ語、フィリピン語、ベトナム語、ネパール語

<第1回>

日 時：令和元年6月23日（日）13時～17時

場 所：大阪国際交流センター

相談者数：47人（来所）、8人（電話）

相談件数：106件

<第2回>

日 時：令和2年2月16日（日）13時～16時30分

場 所：クレオ大阪子育て館

相談者数：34人（来所）

相談件数：75件

④ 外国人相談等にかかる通訳・翻訳ボランティアの活動促進

(ア) コミュニティ通訳ボランティア研修

OFIX ボランティアを対象として、ボランティア活動やコミュニティ通訳に必要な知識を学び、実践ロールプレイを実施した。

実施日：令和元年8月26日（月）、28日（水）

場 所：マイドームおおさか

参加者：延べ40人

(イ) コミュニティ通訳ボランティア研修

大阪府内の市町村で活動するボランティアを対象として、コミュニティ通訳に必要な心構えについての研修を茨木市・茨木市国際親善都市協会と共催で実施した。

実施日：令和元年7月19日（金）

場 所：茨木市役所

参加者：65人

(2) 災害時の外国人支援の強化

① 大阪府災害多言語情報ウェブサイト・アプリの開発・運営（大阪府委託事業）

災害時に外国人が必要な災害や交通等の情報を多言語（12言語）で一元的に発信するウェブサイト・アプリ「Osaka Safe Travels」を開発し、令和2年2月12日から運用を開始した。

② 事業者向け多言語対応講座（大阪府委託事業）

災害時に外国人旅行者等に対して、交通・宿泊事業者等が多言語で適切な対応ができるよう、基本的な知識を得るための講義や「災害時簡単会話シート」を活用し外国人ボランティアを交えたロールプレイを行うなど実践的な講座を10回（内容は共通）実施した。また、講座の内容を各事業所で共有し活用していただけるよう、音声データを付属したテキストを作成した。

なお、参加者のうち、受講後に事前の備えを行うとした割合は96%であった。

内 容：講演「災害時における外国人観光客への対応のポイント～過去の事例から～」

田村 太郎 氏（ダイバーシティ研究所 代表理事）

外国人ボランティアを交え災害時対応のロールプレイを実施

実施日・場所（参加者数）：

令和元年6月20日（木） マイドームおおさか（34人）

令和元年7月25日（木） マイドームおおさか（28人）

令和元年8月23日（金） 泉佐野市立社会福祉センター（31人）

令和元年9月6日（金） ビジネスプラザおおさか（16人）

令和元年11月5日（火） ほした園地（19人）

令和元年11月15日（金） メディカルりんくうポート（28人）

令和元年11月20日（水） 帝国ホテル大阪（36人）

令和元年11月27日（水） 大阪シティバス株式会社（27人）

令和2年1月28日（火） 大阪赤十字病院（16人）

令和2年2月4日（火） 浜寺交通遊園（43人）

③ 高等教育機関向け防災ワークショップの開催

大学や専門学校及び市町村・国際交流協会の担当者を対象に、災害時の活動経験等の講義と災害時の留学生支援のワークショップを大阪府立大学と共催で実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催を見合わせた。

④ 府内国際化協会等による「災害時ネットワーク」の連携促進

(ア) 市町村国際交流協会との連携等

○市町村災害事業支援

防災力の鍵となる地域連携及び地域に根差した災害時外国人支援を推進し、さらなる地域力・防災力の向上をめざして、市町村や地域国際交流協会とともに共催事業を実施した。

テーマ：「外国人市民のための防災セミナー～知ろう！箕面の防災 やろう！自分たちにできること～」

実施日：令和元年9月28日（土）

場 所：箕面市立多文化交流センター

主 催：箕面市国際交流協会、大阪府国際交流財団

参加者：31人

○大阪府域における災害時の外国人支援体制づくり

大阪府域の市町村・国際交流協会間の連携やネットワークの強化を目的に、「大阪府災害時外国人支援ネットワーク会議」を開催し、研修や情報交換を行った。

<第1回>

実施日：令和元年5月9日（木）

場 所：マイドームおおさか

内 容：箕面市国際交流協会による事例発表

「大阪北部を震源とする地震での活動について」

ワークショップ「あなたの町で地震が起こったら？～災害時の対応や課題を考える」

参加者：26人

<第2回>

実施日：令和元年11月8日（金）

場 所：マイドームおおさか

内 容：草津市機能別消防団による事例発表

ワークショップ「地域における外国人防災リーダーの養成に係る取り組みや課題」

参加者：21人

(イ) 大阪府災害時多言語支援センター設置運営

大規模災害時における府内在住外国人に対する支援を円滑に行うため、平成27年3月に大阪府と当財団が「大阪府災害時多言語支援センターの設置・運営に関する協定書」を締結しており、災害時多言語支援センターの設置・運営訓練を実施した。

実施日：令和2年1月17日（金）

場 所：大阪府国際交流財団

内 容：情報収集、多言語情報提供、他機関からの問合せへの対応など

(ウ) 災害時通訳・翻訳ボランティアを対象にした研修

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催を見合わせた。

(エ) 大学、大阪府との三者協定の締結による連携強化

当財団と追手門学院大学、大阪府の間で、災害時通訳・翻訳ボランティアの確保等に係る連携に関する協定書を締結した（令和元年 11 月 29 日）。

(オ) やさしい日本語事業

「やさしい日本語」を災害時だけでなく平時にも応用することで、より多くの外国人の方にとって分かりやすい情報提供を行うことをめざし、大阪府や府内の市町村、国際化協会等を対象としたネットワーク会議及び研修を実施した。

○やさしい日本語ネットワーク会議

実施日：令和元年 2 月 4 日（金）

場 所：マイドームおおさか

内 容：京都市保健福祉局による事例紹介

みやこユニバーサルデザイン～「分かりやすく伝える」ことの大切さ～

参加者：11 人

○やさしい日本語研修

<カテゴリー1：地震など災害時に使える語>

実施日：令和元年 8 月 8 日（木）

場 所：マイドームおおさか

参加者：20 人

<カテゴリー2：日頃から生活情報に使える語>

実施日：令和元年 12 月 19 日（木）

場 所：マイドームおおさか

参加者：17 人

(3) OFIX ボランティアの強化

① OFIX ボランティア登録・派遣制度の運営

OFIX ボランティア登録制度を運営し、OFIX 事業のほか、公共団体等からの依頼に応じてボランティアを派遣した。

<登録ボランティア数（令和 2 年 3 月末現在）及び活動実績>

ホストファミリー 41 家庭 12 人受入

語学ボランティア 251 人 延べ 284 人派遣

文化ボランティア 23 人 1 人派遣

② 災害時通訳・翻訳ボランティア制度の充実

大学等と連携し、教員や留学生のボランティア登録を促進するとともに、市町村におけるボランティア制度の充実を促した。登録ボランティア数：253人（新規登録36人）（令和2年3月末現在）

③ その他多言語ボランティア活動の促進

(ア) 大阪府観光ボランティア活動管理運営業務（大阪府委託事業）

外国人旅行者へのおもてなし機運を醸成するとともに、災害時の外国人支援機能強化や府内市町村でのボランティア充実につなげるため、大阪府観光ボランティア制度を運営した。

ボランティアの登録を進め、ユニホーム（法被・ビブス・帽子）を着用し、ボランティアが二人一組となり、南海、近鉄、大阪メトロなんば駅周辺で、外国人観光客に声かけ、道案内や観光情報の提供を行った。

登録人員：111人（令和2年3月末現在）

登録言語数：10言語（英語87人、中国語27人、韓国語・朝鮮語9人、ベトナム語5人、
広東語2人、アラビア語2人、スペイン語1人、ポルトガル語1人、フィリピン語
1人、ロシア語1人）

活動内容：令和元年9月6日から令和2年2月23日まで活動。

一日につき、午前（10時～13時）、午後（13時～16時）各10人で計20人が活動。

○スタートアップセレモニー

日 時：令和元年9月3日（火）10時～11時

場 所：河原センタービル

ボランティア参加者：29人

○ボランティア意見交換会

日 時：令和元年10月26日、11月25日、12月22日、令和2年1月25日、2月23日
各16時～17時

場 所：河原センタービル（観光ボランティアなんばベース）

参加者：47人

○大阪府内市町村観光課向け研修会 I

日 時：令和元年12月13日（金）14時～16時30分

場 所：マイドームおおさか

参加者：大阪府内市町村観光課、市町村観光協会、市町村観光ボランティア計20人

内 容：講 演「観光ボランティア目線で地方のインバウンドについて考える」

鈴鹿大学教授 富本 真理子 氏

パネルディスカッション

「大阪府域における観光ボランティアとインバウンド対応における課題」

パネリスト 池田市空港観光課 主事 大門 康平 氏

堺観光ボランティア協会 事務局長 藤井 英樹 氏

鈴鹿大学教授 富本 真理子 氏

ファシリテーター 関西観光本部観光コンテンツ開発部長 野村 昌彦 氏

○大阪府観光ボランティア等向け研修会Ⅱ

日 時：令和元年12月20日（金）、12月21日（土）14時～16時30分

場 所：マイドームおおさか

参加者：大阪府観光ボランティア、市町村観光ボランティア 計52人

内 容：災害時に外国人が遭遇する状況を知り、外国人の支援者として踏まえるべきポイントや必要な考え方を学ぶため、講演及びワークショップを実施。

講 演：「災害時の外国人対応とボランティアの期待」

ダイバーシティ研究所 代表理事 田村 太郎 氏

○大阪府観光ボランティア等向け研修会Ⅲ

実施日：令和2年1月11日（土）、19日（日）、2月2日（日）、8日（土）、15日（土）

場 所：河原センタービル／難波エリア

参加者：大阪府観光ボランティア 計52人

内 容：講演及びフィールドワーク研修。心構えと踏まえるべきポイントを学びつつ、なんばのまち歩きを通して方角や距離感をつかみ、案内のポイントとなる観光地を学ぶ。

講 演：「外国人観光客に対するホスピタリティ」

株式会社インプリージョン 五郎丸 歩 氏

※同内容×5日

(イ) G20 大阪学生通訳ボランティア運営（2019年G20大阪サミット関西推進協力協議会委託事業）

G20 大阪サミット 2019 で海外メディア関係者等と接する学生通訳ボランティアの研修及び活動コーディネーションをG20大阪学生通訳ボランティア運営業務共同企業体（当財団及び大阪国際交流センターで構成）で受託して実施。

実施期間：平成31年4月1日～令和元年6月30日

参加学生数：37人（14大学）

○接遇研修

日 時：令和元年4月20日（土）9時30分～16時40分

場 所：大阪国際交流センター

内 容：社会人としての基本マナー及び配慮事項を学ぶグループ ディスカッション、現場を想定してのロールプレイ

講 師：株式会社4Cs 取締役社長 神服 佐知子 氏

○語学研修

日 時：令和元年5月18日（土）12時45分～16時

場 所：大阪国際交流センター

内 容：通訳技能及び丁寧な英語表現についての講義、外国人を交えてのロールプレイ

講 師：関西大学講師 大西 比佐代 氏

○結団式

日 時：令和元年6月22日（土）12時30分～12時45分

場 所：大阪府庁咲洲庁舎

内 容：協議会会長（吉村知事）から学生へユニフォーム支給、学生ボランティア代表者からの決意表明等

○活動

日 時：令和元年6月27日（木）～29日（土）10時～19時及び6月30日（日）10時～12時

場 所：インテックス大阪

内 容：大阪・関西魅力発信スペースでの通訳（1グループ6人で2交替制）

（4）留学生の活動促進事業

① 大阪府堺留学生会館オリオン寮の運営及び活用事業

海外から大阪への留学の促進を図るため、大阪府堺留学生会館オリオン寮（85室）を運営した。安定的な稼働状況（平均入居率87.0%）を維持するとともに、経費節減を図るために共用部の電気料金の見直しを行った。

また、入居留学生等を対象とした総合防災訓練や地域交流会、寮生間交流会を実施した。

（ア）留学生等のための総合防災訓練

実施日：令和元年6月22日（土）

場 所：大阪府堺留学生会館オリオン寮

参加者：15人（留学生11人・通訳ボランティア等4人）

（イ）地域交流会

実施日：令和元年6月1日（土）・12月14日（土）

場 所：大阪府堺留学生会館オリオン寮

参加者：105人（オリオン寮生・地元自治会等）

（ウ）寮生間交流会

実施日：令和元年10月5日（土）

場 所：大阪府堺留学生会館オリオン寮

参加者：オリオン寮生17人

② 留学生支援事業

大阪府内の大学等に在籍する留学生にカウンセリングを行うなどサポートを実施した。

（ア）外国人留学生のための就職セミナー&就職相談会

実施日：令和元年5月25日（土）

場 所：大阪商工会議所

主 催：大阪府、SUCCESS-Osaka（事務局：関西大学国際部）

カウンセリング参加者：留学生1人（セミナー参加者24人）

（イ）留学生対象合同企業説明会

実施日：令和元年10月3日（木）

場 所：梅田スカイビル
主 催：大阪府（商工労働部）
カウンセリング参加者：留学生 15 人（セミナー参加者は 119 人）

③ 留学生への特別入場証の発行

留学生の日本文化理解促進のため、関係機関の協力のもと、大阪国際交流センター及び大遊協国際交流・援助・研究協会と共同で、在阪留学生を対象に美術館・博物館等の文化施設へ無料で入館できる特別入場証を発行した。

対象者：府内の大学、短大、専修学校等の留学生

配付数：21,959 部（115 校）

参加施設数：43 施設

2 国際交流情報の収集及び発信

(1) OFIX からの情報発信

① 大阪府災害多言語情報ウェブサイト・アプリの開発・運営（大阪府委託事業）（再掲）

災害時に外国人が必要な災害や交通等の情報を多言語（12 言語）で一元的に発信するウェブサイト・アプリ「Osaka Safe Travels」を開発し、令和 2 年 2 月 12 日から運営を開始した。

② OFIX ホームページ・SNS の運営等

(ア) OFIX ホームページ

災害多言語情報ウェブサイトとの連動を図りつつ、ホームページのリニューアルを行い、財団事業や他団体との共催事業・連携情報をホームページで発信した。

年間アクセス件数：119,183 件

(イ) OFIX フェイスブック

OFIX フェイスブックにおいて、財団事業や他団体との共催事業・連携に関する最新の情報を多言語で配信した。

年間掲載件数：128 件

(ウ) OFIX ニュース

OFIX ニュース（日本語、英語）を印刷版と配信版（メールマガジン）で定期的に発行した。PR イベント時や賛助会員勧誘時のツールとして積極的に活用した。

発行回数：4 回（季刊）

発行部数：印刷版 1,272 部（1 回平均 318 部）

配信数 延べ 10,417 件（日本語 1 回平均 1,919 件、英語 1 回平均 548 件）

③ その他の広報ツール

当財団の事業を企業や大学等に広くPRするため、OFIXパンフレットやリーフレットほか、必要な情報を多言語で作成して配布した。報道機関への働きかけや取材依頼への対応を行い、新聞(24件)やテレビ(4件)、ウェブニュース(10件)など多数報道された。また、財団事務所内において、多文化共生等の資料を配架する「OFIXプラザ」を運営するなど、情報提供を行った。

(2) 民間国際交流団体等の活動促進

① 近畿地域国際化協会連絡協議会、市町村国際交流協会等との連携促進

近畿地域国際化協会連絡協議会に参画し、近畿の府県・政令市の地域国際化協会との連携を図った。また、災害時に相互にコーディネーター及び通訳の派遣や翻訳支援を行うため、同協議会において「災害時における外国人支援ネットワークに関する協定書」を締結しており、同協議会と共催で研修会「災害時の外国人被災者等のニーズ把握を考える」や災害時広域支援シミュレーション訓練などに取り組んだ。

② 関西国際交流ボランティアネットワーク会議(KIV・NET)への参画

関西における国際交流ボランティア活動の発展・振興に寄与することを目的に設立(平成8年3月)されたKIV・NETに参画。

会員数：64団体(令和元年度事務局：大阪国際交流センター)

3 グローバル人材の育成

(1) 国際理解教育の促進

OFIX 国際理解教育外国人サポーターの育成・派遣

(大遊協国際交流・援助・研究協会との共催事業)

府内学校の児童・生徒の外国への関心と様々な国についての理解の促進を目的として、OFIX 国際理解教育外国人サポーターとして登録している外国人留学生などを、府内学校等で行う国際理解教育授業の講師として派遣するとともに、サポーター育成のための研修を実施した。

(ア) OFIX 国際理解教育外国人サポーターの派遣実績

43校(延べ75校) 対象児童・生徒数：7,006人

(イ) OFIX 国際理解教育外国人サポーター育成のための研修

実施日：令和元年6月15日(土)

場 所：マイドームおおさか

講 義：「効果的なプレゼンテーションの手法について」

鍋内 郷子 氏 (JICA 関西 国際協力推進員)
参加者：外国人サポーター 11 人

(2) 海外研修生受入事業

大阪府海外短期建築・芸術研修生招聘事業の実施

大阪府出身の建築家・安藤忠雄氏をはじめ、当事業の趣旨に賛同された方々からの寄附金を活用し、建築・芸術を専門とするアジア諸国の若者を大阪に招き、日本の建築や芸術等を実地で学ぶ機会を提供した。招聘した研修生と日本の大学生が交流する機会を提供することで、国際理解の促進を図った。

応募者数：52 人 (15 か国)

研修生：8 人 (7 か国：スリランカ、中国、カンボジア、ベトナム、フィリピン、タイ、
バングラデシュ)

研修期間：令和元年 10 月 2 日 (水) ～10 月 30 日 (水) 29 日間

受入企業：(株)大林組、(株)錢高組、(株)竹中工務店、大和ハウス工業(株)

研修内容：受入企業における建築現場の見学や設計部門での実習

安藤忠雄氏設計による建築物の視察や京都スタディツアー
大阪府による都市計画や法令等に関する講義や視察等
ホームステイ (OFIX ホストファミリー)
近畿大学との交流事業

令和元年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和 2 年 6 月
公益財団法人 大阪府国際交流財団